

朝比奈みくるは朝比奈みくるであって、しかも元の朝比奈みくるではない。「**真朝比奈みくる**」。それが彼女の正体。

「そ、そのような事実は一切ありませえ〜ん!!」

「そう。この物語はフィクション。実在の人物、団体、事件その他とは一切関係ない。嘘っぱち。どこか似ていたとしても、それは偶然。」